

2002年6月3日

株式会社ディーツーコミュニケーションズ

「第1回 モバイル広告大賞」決定

株式会社ディーツーコミュニケーションズ(社長:藤田明久、本社:東京都中央区、以下D2C)は、モバイルを利用した広告コミュニケーション及びマーケティング活動の一層の普及を願い「モバイル広告大賞」を創設しましたが、このたび、「第1回 モバイル広告大賞」の選考を行い、モバイル広告マーケティング部門は5社、モバイル広告表現部門は8社の受賞が決定しました。

今回の選考対象は、2000年6月1日から2002年3月31日までに、iモードなどのインターネット接続機能付き携帯電話に配信、掲出されたモバイル広告、および携帯電話を利用したモバイル・マーケティング事例であり、応募総数は78点となりました。受賞企業は以下のとおりです。

【マーケティング部門 マーケティング賞】(5社)

キリンビバレッジ株式会社
株式会社ジーンズメイト
日本マクドナルド株式会社
ヤマハ株式会社
株式会社ロッテ

【表現部門 クリエイティブ賞】(8社)

株式会社アイ・コンビニエンス
株式会社インデックス
ウォルト・ディズニー・インターナショナル・ジャパン株式会社
カゴメ株式会社
株式会社ジェイティービー
松下電器産業株式会社
明星食品株式会社
株式会社リクルートフロムエー

両部門とも、自宅・職場・外出先を問わず常に持ち歩き、ちょっとした空き時間に利用する、といったモバイルの特徴を活かしているかどうかを選考のポイントとなり、広告表現の工夫やゲーム等などのソリューションの工夫、マス広告や店舗および製品との連動などにより、一般消費者の印象を深め、販売促進効果を高めた作品や事例が受賞に至りました。



選考は、慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 嶋口 充輝氏を委員長とするモバイル広告大賞選考委員会を発足し、各部門の審査員会にて行いました。

「モバイル広告大賞」贈賞式は、6月6日に東京・港区の「品川プリンスホテル エグゼクティブタワー」で行います。

「モバイル広告大賞」は、毎年1度実施し、モバイルを利用した広告コミュニケーションの一層の普及と発展に努めてまいります。

なお、受賞企業の具体的なキャンペーン内容およびビクチャー広告表現、審査員紹介については、右記URLにて本日より掲載いたします。 <http://www.d2c.co.jp/award>

本件お問い合わせ先
株式会社ディーツーコミュニケーションズ
広報担当 佐藤(孝)・水野
TEL:03-3538-8214 FAX:03-3538
URL: www.d2c.co.jp mail: press@d2c.co.jp

「第1回 モバイル広告大賞」受賞一覧

2002年6月3日発表
敬称略・アイウエオ順

受賞部門	社名	キャンペーン名	広告会社名	制作会社名
マーケティング部門 マーケティング賞	麒麟ビバレッジ株式会社	「ネットでFIRE」キャンペーン 「ネットでFIRE」キャンペーン	株式会社電通	アイベックス・アンド・リムズ株式会社
マーケティング部門 マーケティング賞	株式会社ジーンズメイト	JMクーポンキャンペーン	株式会社アド電通東京	
マーケティング部門 マーケティング賞	日本マクドナルド株式会社	マクドナルド『モンスタース・インク』 モバイルキャンペーン	株式会社電通	株式会社アルトビジョン
マーケティング部門 マーケティング賞	ヤマハ株式会社	AIBOタイアップキャンペーン	株式会社電通	
マーケティング部門 マーケティング賞	株式会社ロツテ	ガーナチョコレート・ガーナ着信メロディ プレゼント	株式会社アサツー・ディ・ケイ	株式会社プローアップ
表現部門 クリエイティブ賞	株式会社アイ・コンビニエンス	iLAWSON夏祭りキャンペーン	株式会社電通	株式会社アイ・コンビニエンス
表現部門 クリエイティブ賞	株式会社インデックス	鬼太郎まにあ	株式会社電通	
表現部門 クリエイティブ賞	ウォルト・ディズニー・インターナショナル・ジャパン株式会社	Disney-i サイト告知キャンペーン	株式会社電通	
表現部門 クリエイティブ賞	カゴメ株式会社	体内環境正常化「体内年齢大調査！」 キャンペーン	株式会社博報堂	財津事務所
表現部門 クリエイティブ賞	株式会社ジェイティービー	JTB Mobile CREW キャンペーン	株式会社電通	株式会社ジェイティービー
表現部門 クリエイティブ賞	松下電器産業株式会社	NTTDoCoMoムーバP503iS	株式会社電通	松下電器産業株式会社
表現部門 クリエイティブ賞	明星食品株式会社	明星チャルメラ 35周年キャンペーン ('ママの相棒'プレゼントキャンペーン)	株式会社アサツー・ディ・ケイ	
表現部門 クリエイティブ賞	株式会社リクルートフロムエー	フロムエー(特集)告知	株式会社電通	

モバイル広告大賞選考委員会 各審査員の紹介

モバイル広告大賞選考委員長

・嶋口 充輝

慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授

(略歴)1967年 慶應義塾大学経済学部卒業同年フルブライト奨学生として渡米1975年慶應義塾大学、ミシガン州立大学の修士・博士課程修了後、経営学博士(Ph.D.)に。1987年より、現職。

(ルーベン大学(ベルギー)、ウエスタン・オンタリオ大学(カナダ)、モスクワ大学(ロシア)の各大学院客員教授を歴任)

主な著書:Marketing Channels in Japan (The UMI Research Press)戦略的マーケティングの論理(誠文堂新光社)統合マーケティング(日本経済新聞社)、顧客満足型マーケティングの構図、営業の本質(共著)(有斐閣)、インタラクティブマネジメント(共著)(ダイヤモンド社)、柔らかいマーケティングの論理(ダイヤモンド社)、マーケティング革新の時代 全4巻(共著)(有斐閣)、マーケティング・パラダイム(有斐閣)など多数。

関連役職:日本DM大賞審査委員長、日本能率協会マーケティング優秀賞審査委員長、元日本経営品質賞判定委員長
その他、各種学会理事、財団理事、学会誌編集長など

マーケティング部門

・審査員長 嶋口 充輝

慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 (モバイル広告大賞選考委員長兼務)

・審査員 恩藏 直人

早稲田大学 商学部 教授

(略歴)早稲田大学商学部を卒業の後、同大学大学院商学研究科へ進学。早稲田大学商学部専任講師、同助教授を経て、1996年より現職。

専攻:マーケティング。博士(商学)

主要業績:競争優位のブランド戦略(日本経済新聞社)、製品開発の戦略論理(文一総合出版)、マーケティング戦略(共著)(有斐閣)、コラーのマーケティング入門(監修)(ピアソンエデュケーション)、コラーのマーケティング・マネジメント(監修)(ピアソンエデュケーション)、戦略的ブランド・マネジメント(共訳)(東急エージェンシー)ほか論文多数。

・審査員 佐々木 一人

株式会社富士通総研 M & Mコンサルティング事業部 事業部長代理(主席研究員)

(略歴)1958年秋田県生まれ、国立千葉大学工学部卒。全日本テレビサービス(株)(現株NHKアイテック)、(株)長銀総合研究所を経て、1998年11月より(株)富士通総研(2001年4月より現職)。

情報通信・放送産業ならびに同関連事業分野の調査研究やコンサルティング、アドバイザー、講演、執筆活動に従事。主

な著書に「ケータイビジネス2001」、「ブロードバンドビジネス2002」(ソフトバンクパブリッシング)などがある他、テレビ、ラジオのコメンテータ、新聞・雑誌等への記事、コメント掲載も多数。

・審査員 神澤 秀夫

株式会社宣伝会議 月刊「販促会議」編集長

(略歴)1949年生まれ。1974年株式会社宣伝会議入社。月刊「宣伝会議」編集部に所属。広告・マーケティング・クリエイティブ・メディアの各分野を編集記者として担当。1985年より別冊、書籍の編集を経て、1988年、月刊「宣伝会議」編集長に。1995年「宣伝会議」別冊編集長。販売促進・交通広告・デジタルコミュニケーションなど各分野の別冊を編集し、1997年6月創刊の、販売促進の手法・事例を中心に掲載する月刊「販促会議」編集長に。インターネット分野の別冊の編集も行い、現在に至る。

表現部門

・審査員長 内山 光司

株式会社ワンスカイ インタラクティブ クリエイティブ ディレクター

(略歴)1961年生まれ。1984年株式会社電通入社後、電通のデジタル事業関連部署で、数々のデジタルコンテンツの企画・ディレクションを行う。2001年(株)ワンスカイ設立 取締役兼クリエイティブ・ディレクターに就任。インフォメーションデザインとクリエイティビティを活かした手法で、主に広告キャンペーンの分野でウェブサイト制作を手がける。NTT東日本のガッチャマン・キャンペーン/フレッツ、ソニーのConnected_Identity、富士重工のスバルフォレスターのサイトなどを企画制作。マルチメディアコンテンツグランプリ、広告電通賞、文化庁メディア芸術祭、Media.com award、グッドデザイン賞他で受賞多数。

・審査員 秋山 具義

有限会社デイリー・フレッシュ 代表取締役 / アートディレクター

(略歴)1966年東京生まれ。1990年日本大学芸術学部卒業。同年I&S入社。1999年DairyFresh設立。おもな仕事にパルコ、東京ドーム、J-WAVE、麒麟ビバレッジ、「ニュースステーション」(テレビ朝日)ロゴデザイン、米倉涼子『TOUGH』(朝日出版社)、長島有里枝『PASTIME PARADISE』、HIROMIX『HIROMIX PARIS』のアート・ディレクション。ほか多数。

・審査員 末松 亜斗夢

株式会社アトム、株式会社コピキタス 代表取締役社長

(略歴)1957年福岡市出身。桑沢デザイン研究所写真研究科卒業、広告制作会社を経て1983年株式会社アスキー入社。3DCGの映像制作、インタラクティブメディアの開発に従事。以降、コンピュータ関連にフォーカスしたグラフィックデザイン業務にかかわる。1988年アップルコンピュータジャパンでMacintosh DTPマーケティングを担当。その後独立しマルチメディア関連の制作と執筆、啓蒙活動を行う。1994年春、国内初のwebプロダクション業務を開始。以降Webを中心に3DCG、広告SP、CM、TV番組制作、CD-ROMなどデジタル系制作プロダクションとして現在に至る。

・審査員 松井 英一

株式会社宣伝会議 取締役 環境・人間会議事業部長

(略歴) 宣伝会議入社後 教育部門、コピーライター養成講座、SPプランナー養成講座、アートディレクター養成講座等を担当。1998年関西本部長、名古屋本部長 2000年月刊「ブレン」編集長。2001年12月環境・人間会議事業部長、月刊「環境マーケティング&ビジネス」編集長として現在に至る。

〈モバイル広告大賞について〉

「モバイル広告大賞」は、本年より(2002年4月11日創設)、モバイルを利用した広告コミュニケーション及びマーケティング活動の一層の普及と啓蒙活動の一環とし今年度より年一回実施し、表彰するものです。

表現部門、マーケティング部門の二部門で構成されます。iモードをはじめとする、インターネット接続機能付き携帯電話に配信・掲出された広告の中で表現の優れているもの、モバイルを利用したマーケティング活動において、優れているものを選出させていただき、広告主および担当広告会社などを表彰させていただくものです。